



意外かもだけど

工学部 だからこそ 留学

目指せ！！グローバルエンジニア！！

山口大学×工学×留学 = 可能性無限大

Yamaguchi University

命がけの密航で英国へ渡り、工学、政治、造幣、鉄道など現代日本の礎を築いた長州ファイブや、長期留学で日本人初の英国法廷弁護士になった宇部領主。海外留学は長州藩からの伝統で、山口大学はその精神を受け継ぐ。

Faculty of Engineering

工学系の専門知識や技術力は世界に通用するスキル。各学科・専攻科で工学の専門知識や技術力を身に付け世界で活躍する技術者を目指そう。

Study Abroad

留学で学ぶのは、語学力だけではない。外国語でのコミュニケーション能力や異文化理解力・適応力を培い、異国の地で学び生活した経験で確固たる自信や自己肯定感を得ることができる。また留学で得た知見や交友関係も生涯の財産になる。

01

United Kingdom

ユニバーシティ カレッジ ロンドン

University
College
London

長州五傑も学んだ ロンドン伝統校

UCLは理工学、人文ともに高い評価を得ている世界ランキング10位以内のエリート校だ。UCL留学はTOEICスコアと1年次成績で選抜される特別プログラム。ぜひ候補生の座を射止めよう。

Study

渡英後はThree Wheelsで事前研修。日英交流の歴史を学び留学の意義を深める。UCLに移り英語学習や学生との交流、工学実験、ロンドン内外の工学施設見学を行う。通常の留学ではなかなか体験できない充実した内容が特色。



London

UCLは大英博物館に近い市中心にある。市内主要施設での研修もあり毎日観光気分を満喫。週末は郊外に足を延ばすことも可能だ。英国を存分に楽しもう。

先輩の体験談

Three WheelsとUCLでの研修は、すべてが新鮮な経験だった。Three Wheelsでは坐禅による瞑想や石庭の見学を通じて日常では得られない体験をし、特にお勤めの中で語られた「両親への感謝」という話は強く心に残っている。UCLの研修では、英語を使ったコミュニケーションや工学に関する授業で、異なる文化や考え方に触れる機会を得た。文法や語法に誤りがあったとしても、身振り手振りや表情を使えば相手に伝えることができると実感し、意思疎通は可能だと学ぶことができた。休日の観光では日本とは全く異なる街並みや風景に、世界の広さを実感した。特に、地下鉄からロンドンの地上に出た瞬間の街の風景が今でも印象に残っている。数週間の滞在だったが、この経験は確実に私の人生に大きな影響を与えた。一步を踏み出し、挑戦することの大切さを実感し、何事も経験が成長に繋がると強く感じた期間だった。

UCLでの体験は校外学習だけではなく、UCL生との交流や実際に講義を受けることもあった。UCL生との交流は自分にとってとても有意義なものだった。初めは緊張していたが徐々に会話ができていきお互いの国の良い点や悪い点、おすすめの場所や文化の違いについて楽しく会話を進めることができた。この交流会が終わった後仲良くなったインド人のKyleとカフェに行き日本とイギリスの入試制度や学費の違い、日本の文化について楽しく会話をした。UCL以外にも現地の人や観光客と交流をした。冷たく対応されることもあったがほとんどは楽しく会話ができた。お店の人と話したとき自分の英語に自信がないと伝えると、「そんなことない！あなたの英語はとても良い」と言われ泣きそうになった。自信を無くすこともあったが、一緒に研修に参加したメンバーを含め自分と関わってくれた人たちのおかげでこの研修はとても有意義なものになった。

アメリカのリアル 大学生活を体験！

学ぶのは英語だけじゃない！ 北アリゾナ大学の学生と異文化理解のためのワークショップを行い、共に学び、カンパセーションパートナーと大学の講義に参加する。アメリカ大学生活を体験できるイマージョンプログラム。



動画もみてね！

Study

事前・事後オンラインレッスンと北アリゾナ大学での短期集中英語プログラム。ワークショップ、授業体験、カンパセーションクラスと多彩な授業は、英語初心者から留学経験者まで満足できる充実度だ。



Experience Arizona

せっかくアメリカへ行くのだから観光も！ 大学公式リーグのバスケットボールやメジャーリーグのスプリングキャンプの試合観戦、満天の星を望むローウェル天文台、パワースポットとして有名なセドナ、地球の歴史を感じる雄大なグランドキャニオン国立公園など、アメリカの文化や自然を体験しながら、最高の思い出をつくろう！



先輩の体験談

NAUでの研修では、大学の授業見学や異文化交流を通じて、多くの学びを得ることができた。グランドキャニオンでは、大自然の壮大さを目の当たりにし、環境や地質学的な視点からもその価値を実感した。また、アメリカの大学生活を体験する中で、学びに対する姿勢の違いを肌で感じることもできた。

特に印象的だったのは、授業でのディスカッションの活発さだ。アメリカの学生は積極的に発言し、自らの意見を論理的に述べるのが当たり前になっていた。この姿勢に触れ、主体的に学ぶことの重要性を再認識した。研修の最後には英語でのプレゼンテーションを行い、準備や発表を通じて、英語で伝える力と自信を深めることができた。

また、日常生活の中で英語を「話す」だけでなく「使う」経験を積んだことも大きな収穫だった。IGPの友達と行ったジェンガゲームでは、英語で質問に答

えながら会話することで、実践的なコミュニケーション力を高める機会となった。さらに、手に入る材料で日本料理を振舞ったことや、大学主催のイベントへ参加することを通じて、異文化の中で適応しながら行動する力が養われた。

この研修を通じて、英語力の向上だけでなく、異文化理解や主体的に学ぶ姿勢を身につけることができた。特に、「自分の考えを相手に伝え、議論する力」が求められる環境に身を置いたことで、積極的な姿勢を示すことの重要性を痛感した。アメリカの大学生活を実際に体験したことで、長期留学や海外大学進学がより現実的な選択肢として視野に入るようになった。将来、グローバルな環境で活躍するために、今回の経験を活かし、さらに学びを深めていきたい。

※ IGP…Interdisciplinary Global Programの略で、北アリゾナ大学の学際的な国際プログラム。同プログラムに学ぶ学生は1年間の留学が必須。

03

United Kingdom

シェフィールド大学

The University of
Sheffield

工業の街として発展した
土地柄、伝統的に工業分
野で高い研究実績を誇る。
緑豊かで伝統的な英国地
方都市の一面も持つ。

憧れの英国留学

Recommend

★ | 抜群の立地で英国を楽しむ

英国中央部に位置し、ロンドンまで電車で2時間、マンチェスターまで50分。どこへ行くにもアクセスが良い。週末はロンドンはもちろん、スコットランドに足を延ばした先輩もいる。近郊には英国初国立公園ピークディストリクトがあり、点在する小さな村も魅力的。研修や現地の人々との交流はもちろん、多彩な英国の魅力も満喫しよう。



先輩の体験談

エデュケーションビジットとしてLincolnとHardwick Hallを訪れた。エデュケーションビジットは2週間に1度ほど学外の歴史的な場所や建物を訪問する校外学習日である。研修以外で自主的に訪れた場所はロンドン、ハートフィールド、ヨーク、スコットランドのエディンバラである。ヨークでは初めて本格的なアフタヌーンティーを経験し、イギリスで出会った友人達と楽しい時間を過ごすことが出来た。エディンバラは最も私の心に残った都市である。町並みは人生で見た中でも特にすばらしく、到着したときの夕焼け空と町並みは絶対に忘れないと思う。また、今まで全く知らなかった歴史的なメアリーキングズクロースや授業で何度も見たフォース橋の見学ができとても充実した訪問となった。

渡航前は自主学習に対する意欲はあまり高くなく、授業をとっている自身の専門的な分野についてとても受動的な学び方であった。しかし、様々な年齢、国籍、異なる動機から「英語を学ぶ」という同じ目標の人達に5週間囲まれたことで自身が英語を学ぶ目的がさらに明瞭になるとともに、それらの人達の熱意にとてもプラスの影響を受けた。



04

Australia

ウーロンゴン大学

University of
Wollongong

オーストラリアで 欲張りコース

シドニー近郊の自然豊かな都市にある総合大学。
サポート評価、学生満足度、海外の人気の高い。



Recommend

★ | 授業でサーフィン?! 動物園?!

英語圏で学びたい、でも金銭面が気になる。そんな人にオーストラリアはおすすめ。留学期間も希望に応じて選べる。楽しめるよう工夫された授業も特色で、サーフィンや動物園に行った先輩も。学びも遊びもお手頃にとの希望をかなえてくれるコース。



先輩の体験談

平日は授業が終わった後は比較的時間があつた。その時間を利用して大学内外で行われているイベントへの参加、近くのショッピングセンターで買い物、ビーチで泳ぐなどを行った。大学内では週に一回は何かしらのイベントを行っていた。スポーツのイベントでは多くのウーロンゴン大学の学生が参加をしていて、男女問わず活発であった。コミュニケーションを取るイベントでは私のような英会話が苦手な人に対してもたくさん話しかけてくれた。このイベントのおかげで言葉の壁がある場合のコミュニケーションの取り方のちょっとしたコツを掴むことができた。

また、大学外では毎週木曜日に行われていたフットサルのイベントに参加した。9歳の子から60代の人までが参加し、年齢層が幅広い。プレー中にサッカー用語や感情表現の英語の言い方をまねて使ってみたり、言い方を質問したりすることで英語学習につながり、プレーをすればするほど楽しく英語を学習することができた。



ベトナムで
本気の
英語学習

講師はネイティブのみ。実力別クラスでIELTS*を中心に本格的に英語を学ぶ。東部国際大学生はIELTS6.0取得が最低条件だ。実力と熱意ある現地学生と切磋琢磨し英語力を向上させよう。

*IELTS(アイエルツ)
International English Language
Testing System
6.0=TOEIC740~820相当



★| 楽しくリーズナブルに

アジア圏だから渡航費も学費も滞在費も格段にリーズナブル。でも英語学習やアクティビティは充実、異国情緒も楽しめる。滞在は新築の留学生寮か日系宿泊施設で安全衛生面も心配なし！堅実に、楽しい留学を希望する人にオススメ。



先輩の体験談

ベトナムでは性別に関係なく、人との距離がとても近い印象を受けた。非常に友好的で日本について詳しい方も多く、友達を作りやすい環境だと思った。また物価が安く日本の1/3程度の印象だった。夕食はお腹いっぱいになる美味しい料理が180円程度で食べることができた。朝7時には屋台やカフェが開いていて、朝早くから勉強でき非常にありがたかった。温暖な気候や物価の安さ、人の温かさから、英語を学習する環境はかなり整っており、私自身、非常に充実した毎日を過ごすことができたと感じている。衛生面に関しては、高級店や観光地、空港以外、トイレに基本トイレットペーパーはなく、自分でもっていくことに非常に驚いた。しかしそれも含め、非常に良い経験であった。

ベトナムの方々はおもてなしの精神が非常に高く、温かい人が多かったので、私も少しのことで動揺しなくなる広い心で相手のことを考えて接することを学ぶことができた。

ニュージーランドを代表する総合大学で世界中から学生が集まる。授業は実力別にクラス分けされ日常生活に必要な英語を学ぶ。

都会と自然を
バランスよく

★| 勉強も遊びも

オークランドはニュージーランド最大の都市。都会だが周囲は自然豊か。アクティビティも充実しているので、バランスの良い留学生活を楽しめる。



先輩の体験談

オークランドでは中心部から少し離れると閑静な住宅街が広がっていた。また、大学のキャンパスやそれ以上の面積の公園がいくつもあった。都市と自然が両立する街だと感じた。午前中に1コマ2時間の授業が2コマ行われ、授業時間は1日4時間であった。研修の英語の授業はネイティブの講師によりすべて英語で行われた。そのため徐々に耳が慣れ、少しずつ内容が理解できるようになった。日本の授業とは異なりペアワークやグループワークに多くの時間が使われた。午後からは友人と昼ご飯を食べ、オークランドの街を観光することが多かった。徒歩やバスで様々な観光スポットへ訪れた。ピザを10枚買い、公園でクラスメイトとピクニックしたこともある。

最初は、ホストファミリーとコミュニケーションを取ることがうまくできなかった。しかし、毎日の英語の授業などで徐々に耳が慣れ、後半は会話が少しスムーズにできたと感じた。研修前に比べ、他人との会話に積極的になったと感じた。





VR Study

メタバース留学
Immerse × Yamaguchi University

メタバースで 英語の世界に飛び込む！

コロナ禍で全国に先駆けて導入した「メタバース留学」
ポストコロナはVR英会話Immerseと提携し参加機会を広げている。
英語の勉強は苦手だと話せるようになりたい・外国人の友達を
作りたい・現地留学の事前学習・留学後の継続的な会話力維持・
海外学会に備えて英語に慣れておきたい…動機や活用方法はさま
ざま。自分の学習スタイルや生活スタイルに合わせて活用しよう。



全国に先駆けたVR語学留学
Faculty of Engineering Yamaguchi University Presents



対人レッスン

世界中から集まる学習者と共に、採用率1%未満の「世界トップレベルの講師陣」から生活や仕事で使う英語を学ぶ。VRヘッドセットを使えば実際に海外の授業に参加しているようなリアルさだ。レベルは6段階、自分でレベルを変更できる。レベルごとに現実に即したトピックが準備されていて、受講後はクラスノートで復習を行える。1日何レッスンでも受講可能。

AI英会話

AIアバターと会話してみよう。より自然な受け答えや違う言い回しを提案してくれるAIの高性能さに驚く。事前に会話テーマに即した語彙と例文の学習や発音イントネーション矯正を行えば、AIとの会話も対人レッスンもスムーズ。なによりAI相手だからどれだけ間違えても恥ずかしくない。



コミュニティ

様々な国の文化について知るイベントやゲームにミートアップ機能で参加できる。世界中の学習者と交流できるソーシャルラウンジも常時利用可能で、友達やFace bookコミュニティで知り合った参加者とプライベートスペースで交流や会話練習をすることも可能だ。
Immerseは圧倒的に海外ユーザーが多い。ぜひ新しい友達を作ってみよう。

本取り組みは
2024年度中国・四国工学教育協会賞を受賞しました
「ポストコロナ社会におけるメタバース留学の可能性と実践」
山口大学工学部附属工学教育研究センター
山田 知沙 森 啓年 三上 真人



他にもまだある留学

技術研修

工学系グローバル人材を目指して、語学研修からステップアップ！！

山口大学工学部では、「語学研修」と「技術研修」の2つの海外研修を提供している。

「語学研修」は1年生から参加可能。まずは英語を海外で学び、異文化を体験する。

この研修では、ただ英語を学ぶだけでなく、現地の人々との交流を通じて、異なる価値観や考え方に触れる。異文化理解を深めることは、これからのグローバル社会で非常に重要なスキルだ。

「技術研修」は2年生以上が対象。総合的な科学技術を学びながら、実際の実験や演習に取り組む。

この研修では、理論に加え、実践的な知識を身につけ、将来の技術者として必要な基礎力を養う。

そして、現場での実体験を通じて、学びを深める。

2つの研修を通じて、英語という語学力だけでなく、科学技術の専門知識も高めていく。

最終的にはその両方を武器に、世界の舞台で活躍することを目指す。

このような経験が、皆さんの視野を広げ、成長のきっかけになることを期待してる。新しい学びが待っている今、このチャンスを最大限に活用し、夢に向かって一歩ずつ進んでいこう。

※ その他、休学して長期語学留学や交換留学も可能です。興味があれば問い合わせください。



留学の後にこそ、その真価が問われる

工学部留学経験者の「その後」



渡邊 翔 さん

2024年 社会建設工学科 卒業
2024年 パース大学大学院 進学

私は1か月間、イギリスのシェフィールド大学で語学研修に参加しました。この経験を通じて、異文化理解の重要性を強く感じました。様々な国の学生と交流する中で、価値観の違いや問題解決のプロセスの差に驚くと共に、多角的な視点から物事を考える力が身につきました。

研修期間中に自分の成長を特に感じたことは、英語力の向上です。語学学校の授業は高度ではありませんでしたが、語学習得のプロセスを理解することができ、今後の自己学習に役立ちました。また、学生との交流を通じて、英語でのコミュニケーションに対する抵抗感がなくなり、日常的な会話で失敗を恐れずに行えるようになりました。

シェフィールド大学での研修を通じて得た経験は、私の将来のキャリアや学びたいことに大きな影響を与えました。実際、この研修後にイギリスで修士号を取得したいと思うようになり、山口大学を卒業後、University of Bathの修士課程に進むことを決断しました。

海外経験が全てではないと理解していますが、興味があるのであれば、山口大学が素晴らしい機会を提供しているので、積極的に利用して将来のビジョンをより明確にすることができると思っています。ぜひ、みなさんも自分の可能性を信じて、とことん挑戦してみてください。

留学を経験し
英国大学院進学！

アメリカを経て
社会人を経て
大学大学院へ

私が土木技術者を志したきっかけは、幼い頃のホームステイ等の国際交流を経験し、インフラ整備で人々の生活向上に貢献することに興味を持ったからです。その思いから土木分野の国際プログラムを提供している山口大学に入学し、積極的に海外研修（タイの山岳少数民族の村での道路舗装ボランティア、アメリカでのワークトラベル、東ティモールでの海外技術研修、パナマメトロ3号線整備事業でのJICAインターンシップ等）に参加し、海外でも通用する土木技術を磨きました。

このような貴重な海外経験ができたのは、工学教育研究センターの先生方が、様々な研修プログラムや山口大学基金といった金銭面での支援をご紹介くださったおかげです。大学時代に複数の国を訪れ、現地の生活を体験し、土木分野の先輩方と交流できたことは、私にとって大きな財産であり、深く感謝しています。大学卒業後は、建設・開発コンサルタントとして、フィリピンのマニラ地下鉄整備事業に従事していました。

社会人4年目の夏に会社を退職し、日本／世界銀行 共同大学院奨学金制度（JJ/WBGSP）を利用してカリフォルニア大学バークレー校の修士課程（地盤工学専攻）に進学しました。山口大学在学中、一度は海外大学院を目指しましたが、コロナ禍の影響で断念。しかし、社会人としての経験を積む中、卒業研究をパラグアイの国際学会で発表し、Best Paper Award - Young Categoryを受賞したことが再挑戦へのきっかけとなりました。その後、1年間仕事と英語の勉強を両立させ、出願締め切り直前にIELTS（英語試験）の必要スコア7.0を達成し、第一志望のUCバークレー校への進学を実現しました。留学生活は華やかなイメージとは異なり、授業や課題に追われる厳しい日々ですが、学科の仲間たちと支え合いながら努力を続け、前期の単位を無事習得できました。これからも、インフラの維持管理を通じて人々の生活を守るという目標を胸に、さらに学びを深めていきたいと考えています。

海外留学を迷っている学生の皆さん、英語に自信がなく壁を感じている学生の皆さん、ぜひ勇気をもって一度海外へ踏み出してください！言語の壁は『こころ』で通じ合うことで乗り越えられます！学生でしか得られない貴重な経験ができるはずです！



山口 真理菜 さん

2021年 社会建設工学科 卒業
2021年 日本工営株式会社 入社
2024年 カリフォルニア大学バークレー校大学院 進学



返還不要・給付型！

留学をサポートする奨学金

キミの『留学したい！』を応援します！

はばたこう奨学金

『山口大学海外留学支援制度～はばたこう！山口から世界へ～』は学部1回、大学院1回受給可能。一定の成績基準を満たしている必要がある。申請書類の審査による採択式。1回3万円～10万円支給される。IELTSやTOEFLなど語学試験支援制度もあり。

JASSO

日本学生支援機構JASSOの海外留学支援制度。一定の成績基準を満たしている必要がある。対象は31日以上海外研修。月額8万円～12万円支給される。家計基準等により渡航支援金も支給。

現代長州五傑

「常盤工業会現代長州五傑奨学金」はユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）の選抜式短期語学留学のみ対象。TOEICスコア、学業成績、自己推薦書及び面接審査により、2年生10名を選抜。常盤工業会会員に1回12万円支給される。

工学部は留学だけじゃない

「実践的」な英語力を手に入れる

テクニカルコミュニケーション、E-Lab、アカデミックライティング
英語コミュニケーション能力を伸ばす工学部独自のプログラム



Technical communication

シチュエーション別の英語を学ぶ

テクニカルコミュニケーションでは、シチュエーション別の英語について学習することができます。例えば、会社や取引先へのビジネスメール、空港での英会話など様々な状況における英語を学びました。

私は、2年生の夏期休暇でイギリスに留学したのですが、空港での入国審査や応対、大学内外でのコミュニケーションで学習した表現が使えた時にとても達成感があつたことを鮮明に覚えています。簡単な課題や授業内のアウトプットで英語が身に付きやすい授業です。ぜひ、受講してみてください。

大久保 凜太郎 さん 社会建設工学科 4年生

求めるスキルに応じた個別指導

E-Labの魅力は、タイミング次第で自分の要望に応じて、マンツーマンで英語の学習ができることです。私自身は英語の資格のために、スピーキングとライティングの学習で使用しています。海外経験の豊富な先生方からフィードバックをいただけるので、学校の授業では習うことのなかった自然な英語を知ることができ、新鮮です。また、先生方も優しく話しやすいところも魅力だと思います。

馬場 海帆 さん 創成科学研究科博士前期課程 2年生

E-Lab



Academic Writing

Academic Writingで充実した毎日

Academic Writingでは、講義は全て英語で行われるため、自然とリスニング力やスピーキング力が向上していくのでいつも満足しています。毎回の講義内容が深く濃いので、自分が想像していた何倍もの学びがあり、楽しく勉強しています。単語テストやポートフォリオの課題は、作文力・語彙力アップにも繋がっています。また、留学生もたくさん参加しており、ジェスチャーについて学ぶ講義では日本人とは違うジェスチャーをしたり、新しい文化の違いも発見できて交流も広がるので新鮮です。

竹田 夏海 さん 循環環境工学科 4年生



その他の情報はここから

山口大学工学部 留学 で検索！



-Instagram-



-Homepage-

山口大学工学部
附属工学教育研究センター
en305@yamaguchi-u.ac.jp
工学部本館1F事務部4番窓口

留学についてお気軽にお問い合わせください